

業務状況説明書

令和7年4月1日～令和7年9月30日

八街市水道課

1. 事業の概況

令和7年度上半期の給水戸数は、JR総武本線の北側地区が8月末で8,629戸、南側地区が9月末で7,363戸、合計15,992戸（給水人口34,630人）であり、前年度同期15,794戸に比べて198戸増加となりました。

また、使用水量は1,552,100m³であり、前年度同期1,543,158m³に比べて8,942m³、0.6%増加し、水道料金の調定額は、390,560,830円（うち消費税35,483,606円）であり、前年度同期387,209,370円（うち消費税35,179,063円）に比べて3,351,460円、0.9%の増加となりました。（給水人口：一世帯2.170人で算出）

2. 経理の状況

収益的収入及び支出では、水道事業収益は422,779,548円で予算現額1,243,581,000円に対して33.9%の調定率となります、1年間分の長期前受金戻入のうち半年経過分として、予算現額の半額23,229,000円を加えると35.8%の調定率となりました。その内訳として、給水収益（水道料金）が390,570,330円で50.5%、給水申込負担金が29,612,000円で65.5%の調定率となりました。

水道事業費用は、支出負担行為済額572,604,861円で、予算現額1,107,018,000円に対して51.7%の執行率ですが、1年間分の減価償却費のうち半年経過分として、予算現額の半額104,573,500円を加えると61.1%の執行率となりました。

資本的収入及び支出では、資本的収入は企業債が58,700,000円、固定資産売却代金が143,000円となり、予算現額243,955,000円に対して24.1%の調定率となりました。

資本的支出は、建設改良費226,186,056円、企業債償還金95,398,416円が支出負担行為済額で、予算現額476,414,000円に対して、67.5%の執行率となりました。

3. 資金収支の状況

収入済額519,054,641円、支出済額701,639,637円、収支差引182,584,996円減となり、前年度及び前月からの繰越金1,069,612,603円と合わせると、887,027,607円が次期に繰り越されることになりました。

4. 令和6年度決算の状況

(1) 経理の状況

令和6年度収益的収支（税抜き）の状況は、水道事業収益1,148,998,000円に対し、水道事業費用998,199,501円であり、収支差引150,798,499円の純利益が生じ、減債積立金の取崩しに伴い発生したその他の未処分利益剰余金変動額170,000,000円と合わせ、当年度未処分利益剰余金は、320,798,499円となりました。

資本的収支（税込み）の状況は、収入総額193,745,987円に対して支出総額486,018,359円であり、収入額が支出額に対して不足する額292,272,372円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額26,563,695円、減債積立金170,000,000円、過年度分損益勘定留保資金37,008,677円で補填しました。なお、不足する額58,700,000円については令和6年度同意済企業債の未発行分58,700,000円をもって翌年度に措置するものとします。

(2) 主な建設改良工事の概況

施設改良工事として、上水道更新工事3か所実施しました。

令和5年度より榎戸配水場監視制御設備更新工事を実施しており令和7年度完了見込です。